

Syllabus		
コース	レクチャーコース	
カテゴリー	言語・文学	
クラス名	近現代ペルシア文学入門	
クラスコード	LEJA002	
グループ/プライベート	グループ(最少開講人数:5人)	
授業回数	全8回(プレ授業+7回)	
授業スケジュール	2023年3月28日～7月4日 (3/28, 4/11, 4/25, 5/9, 5/23, 6/6, 6/20, 7/4)	春ターム
曜日	火曜(※隔週)	
時間	19:30～21:00(授業時間:90分)	
授業形態	オンライン(Zoom)	
授業言語	日本語(ペルシア語の知識は不要です)	
授業料(税込)	¥25,600	
申込締切日	2023年3月21日(火)	

### 授業の概要・目的

20世紀初頭の立憲革命から21世紀までのイランの近現代史を背景にしたイランの近現代詩の流れと、それぞれの時代を代表する詩人と作品を取り上げて解説していきます。日本語による講義のため、ペルシア語の知識は不要です。ただ、イランの近現代詩は、ペルシア古典詩の基本知識無くしては理解できないため、初回はプレ授業としてイランを代表する5人の古典詩人を簡単にご紹介します。

## 授業内容

プレ講義: イランを代表する5人の古典詩人

第1回: 立憲革命と近代詩人

(モハンマドタギー・バハール、イーラジ・ミールザー、パルヴィーン・エエテサーミー)

第2回: レザー・シャー時代における「シェエレ・ノウ」

(新体詩)の誕生とロマン主義詩(現代詩の祖 ニーマー・ユーシージ)

第3回: 石油国有化運動の敗北と社会象徴詩

(ニーマー派の詩人たち① アハヴァーネ・サーレスとフーシャング・エブテハージ)

第4回: モハンマドレザー・シャー時代の個人主義的詩

(ニーマー派の詩人たち② アフマド・シャームルーとフォルグ・ファッロフザード)

第5回: イラン現代詩と映画(フォルグ・ファッロフザードの『あの家は黒い』)

第6回: 新・神秘主義詩

(ニーマー派の詩人たち③ ソホラーブ・セペフリーと映画『友だちのうちはどこ?』)

第7回: 革命後のイランと祖国愛詩(スィーミン・ベフバハーニー)

## 教科書

特にありません。毎回、資料を配布します。

## 参考書

ペルシア文芸思潮増補新版(黒柳恒男、東京大学出版会)

## 講師の紹介



鈴木珠里 先生

【略歴】

東京外国語大学ペルシア語学科卒、同大学地域文化研究専攻アジア第三言語専攻博士課程前期終了。文学修士。イラン現代詩を研究・翻訳。

最も敬愛する詩人は、フォルグ・ファッロフザードとスィーミン・ベフバハーニー。中央大学、上智大学、東京外国語大学、外務省研修所などでペルシア語を教えながら、イランの文化・文学のすばらしさを日本人に広めようと日々奮闘中。

※Kimiya Academy はクラスの運営とコーディネートのみを行っており、講師が授業内で語る内容に干渉することはありません。